

全国学力・学習状況調査問題を踏まえた

授業改善のヒント～中学校英語編～



©県「ももっち・うらっちと仲間たち」

全国調査問題は、全学年を通じた学習指導の改善・充実を図るための参考にすることができます。今号では、**中学校英語の問題を基にした授業改善のポイント**を紹介します。



今号のポイント

リスニング指導の充実

目的や場面、状況に応じて、生徒が必要な情報かどうかを判断しながら会話を聞き取る活動を授業の中に位置付ける！



次のようなリスニング指導のどこを改善すればよいのかな。

よくあるリスニング指導の流れ

①教師が問題文を読み、音声を流す。

②生徒は音声を聞き、情報をメモする。

③教師が内容について質問して、生徒が答える。



このままでは生徒が聞き取る際に、**会話の状況や目的が明確でないから、どのような情報が必要か捉えきれない**ね。リスニング指導を一步先へ進めるために、全国学力調査の問題（令和5年度 3）を基に改善点を考えてみましょう。

①教師は、会話を聞かせる前に、設定したコミュニケーション場面や状況を生徒に示すとともに、その場面や状況を全員が共有するための手立てを打つ。

あなたはイングリッシュキャンプに参加しています。これから、2班のリーダーとして明日のバーベキューパーティーについて説明を聞くところです。

What is the situation?
We are at an English camp. We have a barbecue party tomorrow.
Good. What else?
We are the leaders of Group 2.
We are going to listen to an explanation of the barbecue party.

②教師は、会話を聞かせる前に、どういった情報を聞き取る必要があるのか考えさせる。

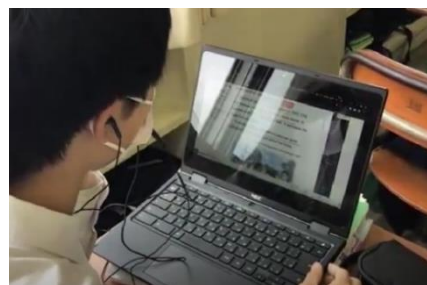
- To tell your group members about your group's job.
- To make the fire and cook rice.
- To cut the vegetables and the meat.
- To cut the vegetables and set the tables.

Look!

T: Look at the blackboard, these are the things to do in the barbecue. (1～4の選択肢を掲示)
T: Once again, "As the leader of Group 2", what do you have to tell your group members? You can see the list and listen to the explanation carefully.

③生徒は、**必要な情報かどうか判断しながら**会話を聞き、聞き取った内容をペアやグループで確かめる。

生徒が 目的や場面、状況などを理解し、どのような情報を聞き取るか見通しをもたせることが大切だね。ICT機器や学習者用デジタル教科書を使用することで、生徒が正確に聞き取れるまで繰り返し音声を聞いたり、スピードを調整したりすることができるよ。一人ひとりの生徒に合わせた言語活動を設定すると、より効果的だね。



〈学習者用デジタル教科書の活用〉